



卒業・入学お祝い会



益子後援会長より記念品をいただきました。

しらかば子どもの家 施設長 仲嶋久義

平成28年度末、しらかば子どもの家（児童養護施設）からは3名の子どもたちを「退園」として送り出すことができました。高校を無事卒業、出身家庭への復帰、そして里親さん宅での新しい生活とそれぞれの道は異なりますが新たな船出をして一歩ずつ進んでいるところです。

「しらかば」での生活を基にして次のステップへと着実に上がっているものと少し遠くから応援しております。

また、他の子どもたちも入学、進級と新年度の新しい歩みを踏み出して、遊びや学習にと日々の生活を元気に送っております。

こうした年度の節目にあたり、関係者、関係機関の皆様、そして後援会の方々には日頃より多方面に渡って支えていただいておりますことを改めて深く感謝申し上げます。

さて、「しらかば」は海に隣接した立地であります。日常的にも園舎からは久里浜の海岸が見られますし、行き交うフェリーや平作川の釣り船などを横目に子どもたちは通学しております。海から吹き上げてくる風の強さは、日によっては特別な強烈さですが、低気圧が来ても久里浜海岸の波は大荒れになることはなく、相模湾沿岸などとは比べようのない穏やかさには驚いたり感心したりする程です。

子どもたちが散歩で出かけられる所に、復元された和式灯台「燈明堂」も存在して浜も磯もある散策に恰好の海岸があります。日頃は訪れる人も少ないのですが海の水は透明感があって、浦賀水道を行き交う船舶を間近に見られるうえに、房総半島もあまり遠くには感じない景色は飽きることはなく、歴史的にはいろいろあるようですが、まさしく風光明媚な地です。浦賀方向には、行事招待してくださるマリーナさんも見えますが、その中には少し小ぶりですがレンガ積みの乾式ドック跡も存在しています。

有名タレントの番組、某「ブラ○○○」も訪れていましたが、浦賀方面も見渡せて、歴史的な舞台にもなった周辺地域には納得させられます。

久里浜の海岸は遊泳禁止で残念ですが、丁寧に探っていくと海に近い「しらかば」のメリットはあちらこちらにあり、奥の深さを感じられます。

たより「あしたば」

第7号発行

しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム

しらかば子どもの家
しらかばベビーホーム
後援会

しらかばベビーホーム	〒239-0826
横須賀市長瀬	3-3-1
599001	



今回お祝いの対象になったメンバーです。(1名足りませんが)
高校入学2名、中学校入学1名、
小学校入学1名
自宅に帰る子1名、里親さん宅へ1名です。



一緒に写らなかった1名です。
しらかば子どもの家を卒園して
社会人になります。



日頃よりお世話になってます、
関係各所の皆様からも、お祝
いをいただきました。



会の終了後、来賓、職員、子どもたち
とともに、屋食を立食形式でとり、楽
しいひと時を過ごしました。





しらかば 歳時記



あすなろ作品展で幸来さんの作品（きりん）が
横浜戸塚西ロータリークラブ賞を受賞しました。
本人の力作です！！
ちょっと手伝った職員の愛情も入っています。



バレンタインデーのチョコづくり
お菓子が大好きな我が家の女性達、
渡す前につまんでなくなった？とか

町内の餅つき大会に行ってきました。
ごちそうになる時はびっくりするほど食べる我が家の
子ども達、ここでも本領を発揮して
職員をびっくりさせた様です。



久里浜小、神明中入学式
今年も小学校、中学校に1名ずつ入学しました。

お茶会でボランティアさんから
お茶をたてて頂きました。
日頃食べている駄菓子とは
ちょっと違う味と雰囲気でした。



帰ってからも練習した運動会のダンス
ガンバって走りました。久里浜小運動会 上手に出来たでしょうが。

神児研卓球大会
今年は残念ながら上位入賞者は
いませんでした。
来年に期待しましょう！





ベビーホーム日記



しらかぼベビーホームに劇団小さいお城がやってきて人形劇を見せてくれました。劇の演目は「3匹のやぎとガラガラドン」でした。このお話は、子どもたちも大好きな絵本なので、すごく楽しみにしていました。小さなやぎや大きなやぎを見ると「かわいいね!」とつぶやく反面、トロルを見ると「こわい!」と言って泣いている姿も見られました。普段では、体験できない1日だったので子どもたちも「面白かったね!」と満足そうな表情でした。



4月は新生活がスタートする月です。

ベビーホームでも3人がこども園(幼稚園と保育園を合わせたもの)に入園し、1人が進級しました。おめかししてうれしそうに入園式に出かけて行きました。また、4月は出会いの月でもありました。初めは慣れない場所でこども園に着くと泣いてしまったりすることもありましたが、こども園で仲の良いお友達ができたり、早くも、「もしかして初恋?」というような出会いもあったようです。



♪ 車 大好き ♪



子どもたちは、車が大好きです。京急バス、ゴミ収集車、消防車、救急車、幼稚園バス、クレーン車、トラック、コンクリートミキサー車。散歩に出掛けると、色々な車とすれ違います。横を通る車に憧れを持って、手を振ったり、声をかけたりしています。時々、消防車に乗っている職員の方が手を振りかえしてくれる事もあります。ゴミ収集車の職員の方への子どもたちの声援はとても元気です♪

ゴミ収集車と消防車は本当に大人気です♪



フラレール大好き♡



床いっぱいにお絵かき&紙を使って遊びました〜♪



真剣な表情でお米とぎ体験♪



お店屋さんごっこもしたよ〜♪



しらかば子どもの家・しらかばベビーホーム後援会

第6回総会を終えて

後援会会長 益子 健一



会員の皆さまには、日ごろより当後援会活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。さて、さる5月20日（土）第6回総会は全ての議案についてご承認を戴き、無事終わることができました。これもひとえに会員皆さまのご協力の賜と深く感謝を申し上げます。年々決算や予算の規模が大きくなり、事業も充実してきていることは大変喜ばしく、皆さまには心より御礼を申し上げます。当日は30名ほどの方々のご出席を戴きましたが、来年はさらに多くのご出席を期待しているところです。

今回の総会においては、議案審議の後、横須賀市児童相談所の高場所長を来賓としてお招きし、「児童相談所の概要」と題する講話を戴きました。

その内容を少し紹介いたします。横須賀市児童相談所は、市民に直結する行政は市町村に権限を付与すべきだとの考えの下、当時の市長が国に働きかけを行い平成18年に開設されたとのことで、同規模の中核市のなかでは先駆的なことだと知りました。

この児童相談所（児相）が開設され、一貫した支援体制や他機関、たとえば福祉事務所等との連携強化が図られるようになったことなどは喜ばしいことですが、人口10万人当たりの虐待件数が154件（平成28年度）は横浜市の104件、川崎市の131件そして県平均の111件に比べて極めて高いことには驚かされました。これには色々な見方があるでしょうが、横須賀市の児相がこの実態に目をそむけず懸命に対応されていることには、敬意と感謝を申し上げたいと思います。

私たちの後援会活動は、これら大人の理不尽な振る舞い（必ずしもそうではない場合もあるでしょう）の犠牲者ともいえる子どもたちの後押しをすることです。改めて、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げるとともに、この輪を一層大きく広げていきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

最後に、向暑の折、会員の皆さまのご健勝とご活躍をご祈念申し上げご挨拶といたします。

平成28年度 2017/3/31 現在

	会員数	入会口数	入金口数	金額
法人	63社	123.0	123.0	1,230,000
個人	92人	241.0	241.0	482,000
合計				1,712,000

平成29年6月26日までの後援会費入金状況です。

後援会の活動を応援してください。
皆様のご協力をお願いいたします。

平成29年度 2017/6/26 現在

	会員数	入会口数	入金口数	金額
法人	52社	88.0	88.0	880,000
個人	58人	155.6	155.6	311,295
合計				1,191,295



施設の入所状況

（平成29年6月1日現在）

子どもの家

	男	女	合計
高等学校	5	2	7
中学校	3	5	8
小学校	10	8	18
こども園	0	2	2
合計	18	17	35

ベビーホーム

	男	女	合計
4歳	1	0	1
3歳	4	2	6
2歳	4	1	5
1歳	2	2	4
0歳	0	1	1
合計	11	6	17

内一時保護2名（0歳女兒1名）
（1歳男児1名）

し大が情てなてもがもど
まい優そあいの私月も分のこの
なん先それありに達並もこの
だしては大はなる、は欲み家
よ、ま切なす。の、は、し、を
と、うこと、の、は、さ、の、を
日、私と、はい、さ、さ、の、を
々、と、す、い、さ、さ、の、を
独、で、け、さ、さ、の、を
り、は、い、さ、さ、の、を
言、は、い、さ、さ、の、を
っ、こ、い、さ、さ、の、を
て、こ、い、さ、さ、の、を

田中

編集後記